



Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista
São Paulo, SP – 01310-925

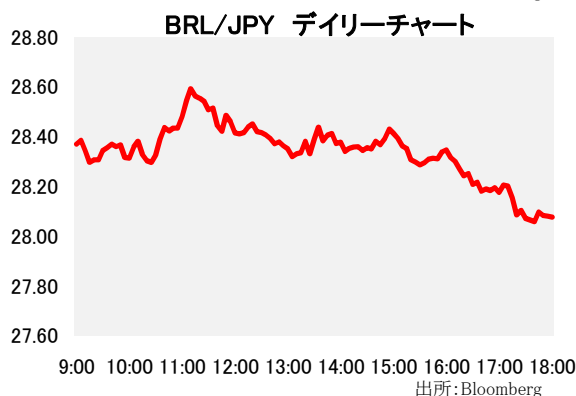
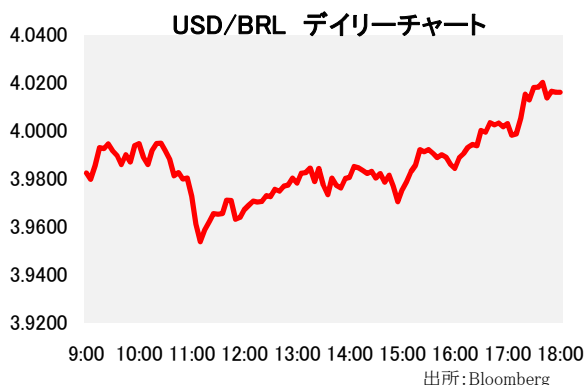
1. マーケット・レート

			2月23日	2月24日	2月25日	2月26日	2月29日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.9580	3.9570	3.9560	4.0000	4.0150	+0.0150
	BRL/JPY	Spot	28.33	28.29	28.56	28.53	28.08	-0.45
	EUR/USD	Spot	1.1015	1.1009	1.1026	1.0936	1.0880	-0.0056
	USD/JPY	Spot	112.11	111.96	112.92	113.97	112.75	-1.22
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	14.225	14.208	14.193	14.210	14.202	-0.008
	Future	1Year(p.a.)	14.258	14.230	14.273	14.284	14.214	-0.071
	On-shore	6MTH(p.a.)	2.918	3.055	3.333	3.408	3.493	+0.085
	USD	1Year(p.a.)	3.527	3.702	3.936	4.018	3.944	-0.074
株式	Bovespa指数		42,521	42,085	41,888	41,593	42,795	1,202
CDS	CDS Brazil 5y		463.20	455.37	451.33	460.58	456.85	-3.72
商品	CRB指数		160.436	161.495	162.637	161.670	163.216	+1.55

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

2. 主要経済指標

イベント	予想	実績	前回
CNI Consumer Confidence	--	98.7	98.6
(米)ISMミルウォーキー	50.00	55.22	50.36
(米)シカゴ 購買部協会景気指数	52.5	47.6	55.6
(米)中古住宅販売仮契約(前月比)	0.5%	-2.5%	0.9%
(米)ダウ連銀製造業活動	-30.0	-31.8	-34.6



3. 要人コメント

	特になし
--	------

4. トピックス

- 本日のレアルは3,9930で寄りついた。早朝に発表された中国預金準備率引き下げの報道を受けてリスクオンムードとなる中、レアルは朝方から堅調に推移した。更に米国の経済指標が市場予想を下回ったことを受けてドルが売られると、レアルは高値となる3,9510を示現した。しかし、買い一巡後、買いは政局への懸念を背景に軟調に転じた。特に先週ルセフ大統領の選挙ストラテジストが国外企業から不正資金を受け取った容疑で逮捕されたことを受けて、大統領が週末の主要なイベントへの参加をキャンセルしたことが蒸し返された模様。引けにかけてレアルは安値となる4,0220をつけ、4,0150でクローズした。
- 伯中銀公表のアナリスト予想集計では2016年GDP成長率予想が-3.40%から-3.45%に6週連続で下方修正された。一方、2016年末のインフレ率予想は7.62%から7.57%へ9週間ぶりに下方修正された。2017年のGDP成長率予想はそれぞれ+0.5%と6.0%で先週と同値だった。政策金利予想は2016年が14.25%で据え置かれ、2017年は12.63%から12.50%へ2週連続で下方修正された。
- アジア時間に中国人民銀行が課す預金準備率の0.5%引き下げを発表した。この報道を受けて欧米株式市場は総じて堅調に推移し、ボブスパ指数は一時は前営業日比+3.0%まで上昇した。原油先物も上昇し、WTI直近限月物は33ドル台後半まで上昇した。

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に際して生じうる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は 著作物であり、著作権法により保護されています。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。